

12/5付稿

## 政治資金不記載

# 裏金の解明を徹底的に

論説

2023-12-5

国民党幹部が政治資金パーティー券を売った所蔵証券に販売ノルマ超過分を還流させ、派閥と議員双方の収支報告書に記載されていない総額が2022年までの毎月で一億円を超えることが分かった。潮流分の不記載は継続的で業務的ルバースでは済まなかつた。組織的じく離れた「裏金ひづり」と指摘られて当然だ。

二院派も所属議員がノルマを超過めたパートナー券收入を脈間の取扱監査課に記載していかつたがれ、東京地検特捜部は政治資金規正法違反（不記載・虚偽記入）容疑で西派の会計責任者らが在籍で事情を聴いてくる。

過去に安藤派事務経理を務めた

松野玲一（宮原議官、西村康稔経営

産業相はともに「政府の立場」を

理由に説明を始めた。岸田文雄自

相は特級議員として対応する考え方を

示したが、実態解明に積極的には

難い難い。もはや自民党には自立

能力を期待で免まつ。パートナー

を過る政治資金の流れやパートナー

を悪用した裏金つまりの実態解

明に向けて徹底捜査すべきだ。

政治資金規正法は1回20万円を

超えるパートナー券購入者の名前

と金額を報酬書類に明記するよう義務

付けているが、自民党的派閥で

記載漏れがあった。

両相は、同一の相手に複数の議

員が販売した場合の「名寄せ」が

できていなかったと認めた。議員クルーズが初歩的な会計能力を欠いていたとは驚いた。報告書類

正での算引がなされない。

この問題は「米山の一色」の可

能性が高い。不記載が判明したのは報告義務がある政治団体のパートナー券購入に端られ、企業・団体は含まれていないからだ。

政治資金パーティー券は、規定

法による政党に対してしか融資で

きない企業・団体を購入するものと

がで、企業・団体融資の抜け道

になってしまったと指摘されたのだ。

政治資金の透明性を高めるためにはパートナー券の購入者名と公

表金額の記載だけじゃあるまいし、根本的な検討が必要だ。

眞面目だ。アドバンパートナード

や消費税のインボイス（請求書

書）制度を強制に導き、国民の收

入を把握しないとする論調だ。民間

の資金についても同様にして、国民

なら、国民の資金に透明性かな

らない。強いて離れる。